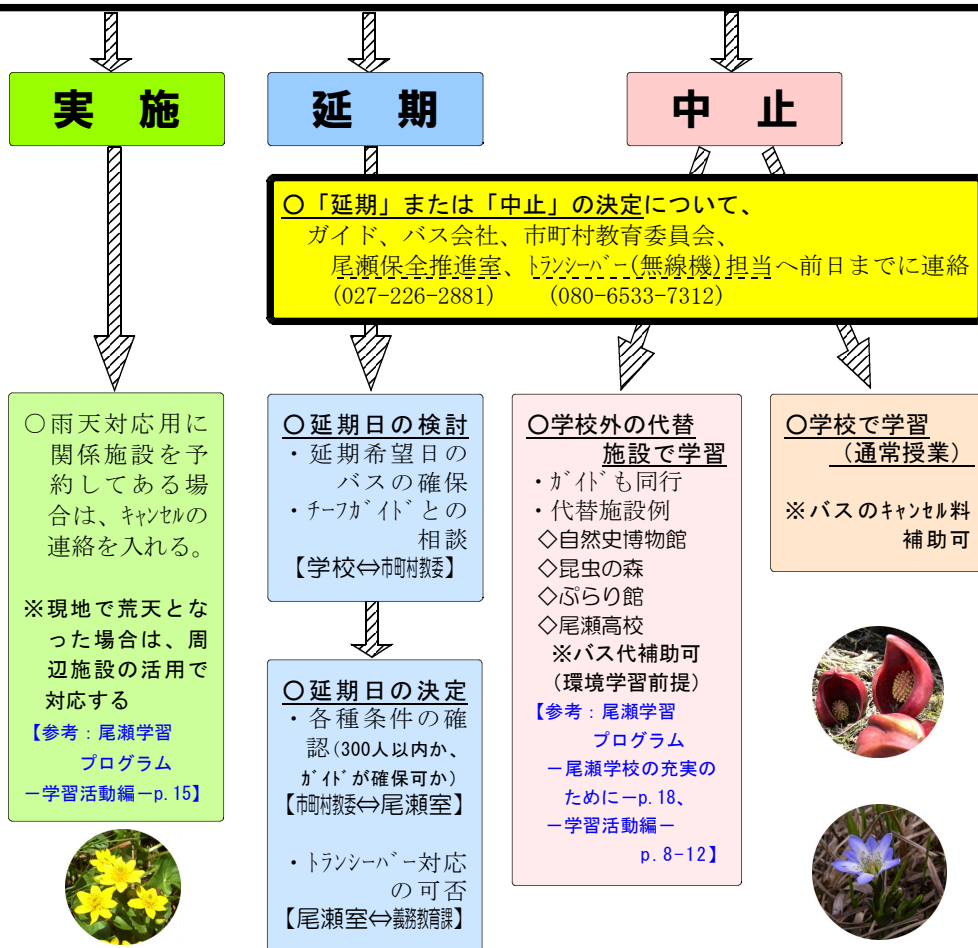


Q 1 : 実施当日に雨天が予想される場合、どのように対応すればよいでしょうか。

A 1 : 尾瀬は気候の変わりやすい山岳地帯であり、自然の変化を感じたり、雨の中で新たな発見をしたりすることも、貴重な体験の一つとなりますので、荒天以外は実施を前向きに検討してほしいと思います。どうしても当日の天候に心配がある場合には、出発前日までに「実施」「延期」「中止」の判断をチーフガイドと相談しながら各学校が行い、以下のような対応をとってください。

【参考：尾瀬学習プログラム—学習活動編—p. 15-16】

各学校が前日までの気象情報の収集により、学校の実態を踏まえて総合的に判断する



Q 2 : 事前学習や当日に、環境問題のことを詳しく説明してもらえませんか。

A 2 : 尾瀬は、戦後の各地における自然保護運動の先駆けとして守られてきた経緯があり、ゴミ持ち帰り運動やマイカー規制、排水施設や木道の整備など、その貴重な自然を保護していくための様々な取組が長年にわたり行われてきた国立公園です。そのため、自然に優しい行動や自然を守るためのルールについて、様々な視点で学ぶことができる場所といえます。そこで、まず学校としてどのようなねらいで尾瀬学校に参加させたいのかをよく考えていただき、その上で事前学習において重点的に話してほしいこと、また、当日の活動において各ガイドから共通して話してほしいことなどについて、事前にチーフガイドに具体的に伝えてください。

Q 3 : 当日までに、児童生徒の各活動班と担当ガイドの交流はもてますか。

A 3 : 班に同行するガイド全員が事前学習に参加することは、ガイドの日程確保や費用から考えて困難です。事前学習担当のガイドと児童生徒が交流する時間を十分確保するなどの工夫をお願いします。

Q 4 : 水芭蕉が見られる時期の実施はできませんか。

A 4 : 残雪の影響で児童生徒の安全面の確保が難しいこと、一般客の多さによる混雑の影響でガイドの確保、昼食場所の確保等が難しいことなどから、6月中旬以降の日程設定としています。なお、尾瀬全体の混雑緩和への配慮等から、1日あたりの児童生徒数の上限を300名としていますので、御理解と御協力をお願いします。



【参考：尾瀬学習プログラム—学習活動編—p. 13-14】



尾瀬学校参加に係るQ & A
—尾瀬学校充実のための検討会議より—
平成29年4月1日発行

【問合せ先】
〒371-8570
前橋市大手町1-1-1

群馬県自然環境課尾瀬保全推進室
TEL 027-226-2881
FAX 027-220-4421

群馬県教育委員会義務教育課
TEL 027-226-4618
FAX 027-243-7759

尾瀬学校参加に係るQ&A

—「尾瀬学校充実のための検討会議」より—



優れた景観と貴重な生態系に恵まれ、自然保護の原点といわれる尾瀬国立公園。質の高い自然体験を通じた環境学習の充実を目指し、「ぐんまの子どもたちを一度は尾瀬に」という願いのもと、平成20年度より「尾瀬学校」は始まりました。

その尾瀬学校も本年度で開始10年目となります。そこで、群馬県では「尾瀬学校」のさらなる充実に向けて、学校職員代表者、尾瀬ガイド代表者、尾瀬保全推進室担当者、教育委員会担当者が集まり、取組の現状や課題について意見交換を実施いたしました。その際、学校からの質問が多かった4つの内容について、Q&A形式で本資料にまとめました。

すでに発行されている「尾瀬学習プログラム」にも掲載されている内容ではありますが、自然が相手の学習ということで、参加校では天候判断等で急な対応を迫られる場合があります。本資料を手元に置くなどして御活用ください。

なお、詳細は「尾瀬学習プログラム」で御確認ください。

群馬県自然環境課尾瀬保全推進室
群馬県教育委員会